

校長室だより

No. 13

平成 29 年 7 月 5 日(水)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かざ  
加藤嘉一

「なのはな」改訂版（郷土読本）完成 ー生活科・社会科・総合的な学習などで活用ー



本校には、2003 年（平成 15 年）10 月に「なのはな」（郷土読本）という本を発刊しています。これは、六ツ美の成り立ち、歴史、民話、産業、交通などがまとめられており、本学区の貴重な資料です。

この本は、2002 年（平成 14 年）に学習指導要領が改訂された折、当時の校長だった鶴田紀美子先生が、子供たちの学習に役立つ郷土読本を作ろうと提唱され、全職員で 2 年間をかけて編集した本です。このときの学習指導要領の改訂は、大きな変化がありました。教科書のない教科領域である「総合的な学習の時間」が新しく設けられたのです。

これにより、子供たちは今まで以上に地域に出かけ調べたり、実験・観察したり、提案・表現する活動を取り入れ、地域にかかわる学習や環境・国際・福祉などについて学ぶことが多くなりました。その学習に役立たせようとつくられたのが、「なのはな」です。

この「なのはな」は、完成から 10 年以上を経ています。書いてある内容や現在の本の状況を見直してみると、次のようでした。

- ①古くからの伝統が受け継がれているもの等、そのまま学習に使えるものもあれば、農業や工業などの産業、公共施設・町の様子などは変化していて、修正が必要であること
- ②社会科や生活科など、少しずつ学習する内容が変わってきていること
- ③歴史が進み記録も追加されるべきもの（開校 140 周年行事や悠紀斎田 100 周年記念式典、岡崎市制 100 周年記念式典など）が増えてきたこと
- ④子供の学習記録や資料、写真も少し古さを感じる事
- ⑤H15 版は数十冊しか残っておらず活用が難しくなっていること等

前校長の中根俊忠先生からの引継ぎのなかにも、本書の改訂をするとよいとの申し送りがありました。そこで、昨年 1 年をかけ、全職員でこの「なのはな」の改訂作業を行いました。（編集のまとめ役を担ってくれたのが、青木麻紀先生です）今の教科書にあわせて章立ても新しい構成にしたり、防災のページを新設したり大幅に改訂しています。工場や農業の方に取材し直したり、再点検して



【「なのはな」改訂版】

いただいたり、本文・内容や子供の学習記録、そして資料まで刷新しています。  
今年3月に告示された次期学習指導要領でも、郷土について学ぶ学習がさらに求められていると感じます。しばらくは、一人1冊配本できる数を印刷しました。この本が、今後子供たちの学習に有効に活用されることを願っています。

☆：本年度新規  
の取り組み

#### 本年度の重点努力目標（その4）

##### ウ ちゅうぶがだいすきな子を育てる

- ・学習内容と育むべき資質・能力を再編成し、岡崎市と中部学区の歴史・伝統・文化を素材とした特色あるカリキュラムの研究・開発を図る。

- ☆ESD カレンダーを利用した教科横断的学習のカリキュラム作り（各学年）
- ☆副読本「なのはな」（郷土読本）改訂版の活用
- ☆英語活動実践ゾーン English Street の充実（環境整備）
- 地域交流センター悠紀の里を利用した学習（3年社会科）
- 学区の昔のくらしの学習（3年社会科・総合）
- 学区と占部用水の関わりの学習（5年総合）
- 学区の未来を考える（6年総合）

- ・地域の人から学ぶ活動や、地域の人とともに行う活動、地域の自然を見つめたり、自然の中で体験したりする活動を大切にする。

- 地域教育ボランティア「ちゅらぼ」システムの充実（人的整備）
- おやゼミの充実
- 社会科・総合的な学習の地域講師招聘（授業）
- 田植え・稲刈り・苗（さつまいも等）植え・収穫祭等の充実
- まちたんけんの充実（2年生活科）
- 花育・FBC 参加とデザイン募集全校参加（4年児童・委員会・常時活動）

- ・学級活動、委員会活動、兄弟学級・保育園・中学校等との異年齢交流において、子供の主体的、意欲的な活動を展開する。

- 各活動組織が活用できる集会の時間の確保
- ペア学年交流の研究（1・6年、2・5年、3・4年交流）
- 学年・委員会主催の縦割り交流（集会）
- 苗植え・収穫祭・避難訓練等保小中交流行事の充実
- ☆子供の発想を生かした集会・放送の時間の確保（集会・放送）

#### 懇談会において

来週11日（火）から懇談会を行います。本年度、初任者の学級については、懇談会に指導者が同席させていただき、その後の初任者研修に生かします。御理解ください。